

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

史上最悪の誘拐殺人事件の真実は
横山 秀夫著 / 『64 (ロクヨン)』

文藝春秋
小説

昭和64年に起きたり県史上最悪の誘拐殺人事件を巡り、刑事部と警務部が全面戦争に突入。広報の三上は己の真を問われることに…。骨太のストーリー展開、圧倒的な臨場感とリアリティ。特に終盤の勢いと、驚愕の真実は、警察小説ファン、ミステリー小説ファンのどちらももうならせてしまう傑作。警察小説の真髓がこの1冊にあります。

おいしく、効率的に野菜がとれる
主婦の友社編 / 『一日分の野菜がとれる「主役スープ」』

主婦の友社
娯楽教養

スープ1つ作るだけで、1皿に約2分の1日分の野菜が取れ、お腹も大満足。誰もが名前を知っているものから、作ってあげたらほめられそうなおしゃれなものまで、バリエーションも豊富。簡単でおいしい、初心者にもおすすめのレシピ集です。この「主役スープ」を活用して、おいしく、効率的に野菜を食べ、冬を元気に過ごしましょう。

「北」での24年間、迫真の手記
蓮池 薫著 / 『拉致と決断』

新潮社
一般書

監視下の生活、偽装経歴、脱出の誘惑、洗脳教育、戦争の恐怖、飢餓と配給、電撃帰国の真相…。「北」での24年を初めてつづった迫真の手記。拉致被害者が帰国して10年経ったが、いまだ全容は明らかにされず、解決には程遠い。ここにつづられた「当事者の苦悩」は胸に迫り、1日も早い解決をと改めて願わずにはられない1冊です。

子どもの名前に込められた親の愛
室井 滋作・長谷川 義史絵 / 『しげちゃん』

金の星社
児童書

女の子なのに「しげる」。もっとかわいい名前だったらいいのに…。しげちゃんは自分の名前が大嫌い。でも、子どもの幸せを願って、親が名前をつけたことを知って…。女優の室井滋の名前にまつわるユーモラスなエピソードに、長谷川義史のおおらかで味わい深い絵が魅力的。笑って、泣いて、元気が出て、読み聞かせにもおすすめです。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

私がおすすめる本は、池上彰さんの『ノーベル平和賞で世の中がわかる』です。

この本では、ノーベル平和賞受賞者を年代別に解説しており、歴史の流れとともに変わりゆく、「平和のあり方」が見えてきます。

受賞者の1人、ワンガリ・マータイさんについて紹介しましょう。

今月の案内人



早崎 智香さん
〔早川区〕

彼女は「もったいない」という日本語を、そのまま「Mottainai」として世界に広めたことでも知ら

～ My Favorite Story ～
Read This Story!
私のおすすめ図書

『ノーベル平和賞で世の中がわかる』(池上 彰著)

ノーベル平和賞の111年の歴史は、20世紀から21世紀の現代史そのもの。同賞から、戦争や紛争、貧困、疾病をなくそうという人々の努力を垣間見る。

れています。

彼女の受賞理由の一つには、「環境保護活動」が挙げられています。このことについて著者は、「近年、気候変動によって水害や干ばつが起きるケースが増えてきた。環境の悪化で生まれた環境難民の人々が食料や水を求めることで、新たな戦争や紛争が発生する。環境を守る取り組みが紛争を事前に予防する考え方である」と解説してい

ます。

平和維持の概念は時代とともに少しずつ変化していくものなのだと実感しました。

この本を通して、世界の歴史を色濃く反映したノーベル平和賞と受賞者の「平和に向けての強い信念」を、皆さんも感じてみませんか。

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶町公民館からのご案内

「町民大学」植木市見学

- 開催日時 1月30日(水)
 - ・出発 午前9時30分
 - ・到着 午後3時
- 集合場所 町生涯学習センター
- 会場 県農業公園
- 参加費 無料(昼食は各自負担)
- 定員 一般参加者・10人程度
- 申込開始日 1月7日(月)

「たこあげ大会」

- 開催日時 1月19日(土) 午前10時
 - 会場 中甲橋グリーンパーク
- ※たこは各自持参してください。
※雨天の場合は中止となります。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務
☎096-234-2447(内線321)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

◀視察研修

玉名郡公民館連合会が来町

12月3日(月) 玉名郡公民館連合会から4町の公民館関係者9人が、町公民館を視察研修で訪れました。研修では、公民館講座や出前講座の運営などについて説明。行政区公民館活動



▲研修を受講する玉名郡の公民館連合会関係者

や、公民館主事に関する助成金、町公民館運営審議会、出前講座で行われている保健活動、各行政区や地区体

育協会でのスポーツ行事などについて質問が集中しました。

研修を受講した公民館関係者は、今後の同郡内での公民館活動について「甲佐町の活動を参考にして、活性化を図りたい」と話しました。

◀郷土の歴史を訪ねて

御船町の史跡を見学

12月6日(木)、町公民館主催講座「郷土の歴史を訪ねて」(第3回)は、御船町の史跡を訪ね、同町の歴史について学習しました。講師に、御船町教育委員会の橋口さんを招き、参加者は22人。

午後は、室町時代の釈迦三尊像がある東禅寺、中道橋、小坂・大塚古墳、酒蔵を再生計画中の街なかギャラリーも見学しました。参加した60代の男性は、「昔の人々の根気よい作業や、すばらしい能力に脱帽ですね」と話しました。



▲御船町の史跡を訪ねて学習する参加者

前川橋、日向往還の石畳や八勢眼鏡橋、円柱状の欄干や下鶴眼鏡橋を見学しました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

気づいていますか、自分の思い込みに

年齢や性別、出身地、障がいの有無、文化や習慣の違いなどで、「〇〇だから…だろう」「〇〇は…こうあるべき」といった考え方をしてしまうことはありませんか。

一方的な決めつけや固定観念などで、その人の能力や人柄を判断したり、相手の意見を聞かずに考え方を押しついたり…。

思い込みや偏見による言葉や行動は相手の心を傷つけ、その人の夢や活躍の場を奪うことにもつながります。

気づいていますか、あなたも当事者であること

自分らしく、幸せに生きるために、「人権」は私たちみんなが持っているかけがえのない権利です。

でも「自分には関係ないことだ」と思っていないですか。

日常の何気ない行動や会話の中で、あなたが誰かにつらい思いをさせていたり、逆にあなた自身が傷つけられたり、悲しくなったり…。

人権問題は、誰もががかかわっている大切な問題なのです。

気づいていますか、ほかの人の気持ちに

「個人の人権」を尊重することは、「自分さえよければ」ということではありません。

相手の立場を考えない言葉や行動は人を傷つけ、さらには差別を助長することにもつながります。

誰もが心豊かに生活できる社会にするためには、正しい知識を持ち、相手の立場に立って考えることが大切です。

『人権啓発PRESS

THE ハート』より